

令和3年8月6日

青森県「攻めの農林水産業」推進本部

8月5日現在水稻出穂状況

地 域	出穂割合 (%)		
	本年	平年	前年
東 青	100	23	64
中 南	98	50	88
西 北	100	50	75
上 北	99	28	30
下 北	85	22	20
三 八	96	35	47
県全体	99	41	65

注) 各地域農林水産部調べ。小数点以下は四捨五入
平年値は、過去10カ年の平均

<概 況>

8月5日現在の水稻出穂状況は、県全体で99%となっており、平年より58ポイント高かった。

県全体の出穂終わりは、平年より8日早い8月4日であった。

<技術対策>

出穂後10日間は、開花・受精のため5～6cm位の水深を保つ。高温の場合は、時々水の入れ替えを行い、根の老化防止に努める。

斑点米カメムシ類の発生が多いと予想されるので適期防除を徹底する。

早期落水は品質低下につながるので、落水の目安は「乾田で出穂後30～35日、湿田で出穂後20～25日」とする。

参考〈出穂の進度〉 (月/日)

	本年	平年	前年
始 め	7/27	8/3	8/2
最盛期	7/30	8/6	8/5
終わり	8/04	8/12	8/10

※始 め：出穂した割合が5%に達した日

※最盛期：出穂した割合が50%に達した日

※終わり：出穂した割合が95%に達した日



報道機関用提供資料	
担 当 課 担 当 者	農林水産部農産園芸課 稲作・畑作振興グループ 総括主幹 腰巡好之
電 話 番 号	直通 017-734-9480 内線 5073
報 道 監	農林水産部 次長 (農商工連携推進監) 近藤幹三 内線 4967